



モエワ★カムイ 59

NO.

NOV 2000

●モエワ・カムイとはアイヌ語で「エノタヌキ」のことです。



あさひやまどうぶつえんニュース
ASAHIYAMA ZOO NEWS

もくじ

シリーズ

「ぼくは動物大使」

その20 水中飛翔鳥
ペンギン 2.3

特集

見どころいっぱい
ペンギン館オープン
4.5

こども牧場だより
動物園事情 6

動物病院VETニュース 7

クイズ
できごと
飼育動物数
編集後記 8

ジェンツーペンギン
Pygoscelis papua

ぼくは、
動物大使
その20 水中飛翔鳥 ペンギン

ペンギン6属

- エンペラーペンギン属 (エンペラー・キング)
- マカロニペンギン属 (イフトビ・フィヨルドランド・シュレーター・スネアーズ・ロイヤル・マカロニ)
- アデリーペンギン属 (アデリー・ジェンツー・ヒゲ)
- キガシラペンギン属 (キガシラ)
- フンボルトペンギン属 (マゼラン・フンボルト・ケープ・ガラパゴス)
- コガタペンギン属 (コガタ・ハネジロ)

ペンギン科の分布



ペンギン科

Spheniscidae

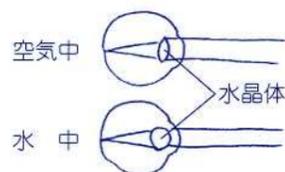
一口にペンギンといっても、その仲間は大きく6つのグループに分けられ全部で18種もいます。生息地は南極とその周辺の島々に7種、ニュージーランドに7種（うち1種はオーストラリア南岸にもいる）、南アメリカに5種、アフリカ南岸に1種、赤道直下のガラパゴス諸島に1種と広範囲。全種が南半球に生息しています（ガラパゴス諸島のイサベラ島の一部は北半球に位置する）。生息環境は「極寒の水の上」と思われがちですが、岩場や砂浜、海から少し離れた草原や森の中と種によって様々です。なぜならそれぞれの生息地の海には、寒流が流れ込むので暑い地域でも暮らせるのです。

食物は魚やイカ、オキアミですが、それぞれの種の潜水能力に応じて獲物も違ってきます。あまり深く潜れない仲間はオキアミや小魚を食べ、深く潜れる仲間は大きい魚やイカを好みます。エンペラーペンギンやキングペンギンは水深300m以上も潜れることがわかっています。

今でこそ「ペンギンは何の仲間なの？」と聞かれれば皆さん「鳥」と答えるでしょう。でも初めてその生き物を見た昔の人は「2枚の大きなヒレを持った羽毛のある魚」とか「鳥と魚の雑種」などと思われていたようです。「ペンギンは鳥だ」と確認したい方、「ペンギん館」に見に来て下さい。まぎれもなく水中を飛びまわる「鳥」の姿が見られますよ。

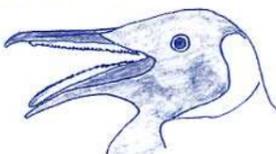
目

陸上では水晶体を平らに、光が屈折する水中では丸くし、どちらでもよく見えるよう調節できる。水中では半透明の「瞬膜」といううすい膜が水中メガネの役目をする。



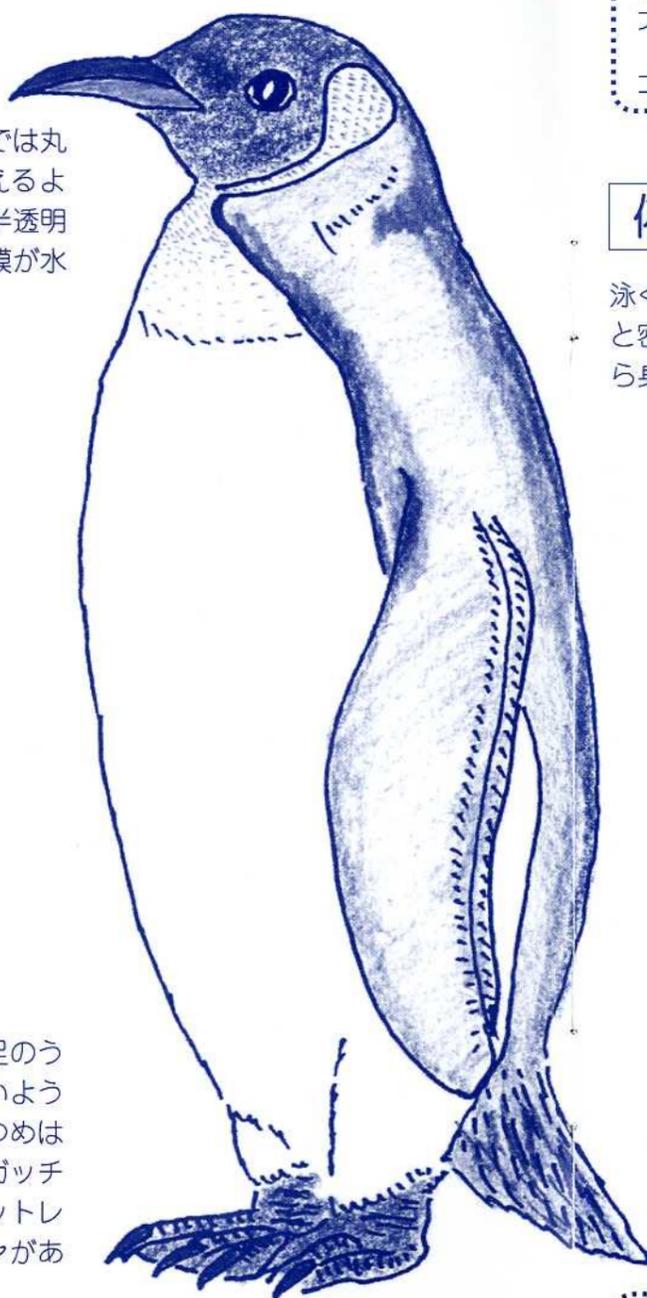
くちばし

固くて丈夫。口の中と舌には小さなとげがたくさんあり、獲えた獲物は逃がさない。



足

毛はない。皮ふは厚く、足のうらは氷の上でもすべらないように、ざらざらしている。つめはすどく岩場や氷の坂もガッチリとらえる。まるでスタットレスタイヤとスパイクタイヤがあわさったみたい。



体

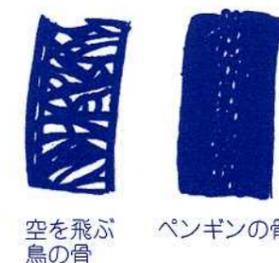
泳ぐのに適した流線型の体。厚い脂肪と密に生えた羽毛が冷たい水や寒さから身を守る。

つばさ

フリッパーとよばれるつばさは泳ぐときになくしてはならないもの。けんかの時は、これでたたいたり暑いときはパタパタして血管を冷やし、体温を下げる。

骨

空を飛ぶ鳥の骨は、体を軽くするために、中はほとんど空どう。でも、ペンギンの骨は固く、中もつまっていて重い。水に潜るので体が重い方がいい。



尾

尾のつけねに脂がでる腺（尾脂腺）があり、この脂をくちばしにつけて羽毛にぬれば防水加工のできあがり！

ブルブル……寒い？

ペンギンには両目の上あたりに1対の「塩類腺」とよばれるしくみがあり、ここで海水の塩分をろ過します。ろ過された濃い塩水は鼻の穴からくちばしの溝をつたって外に流れます。ペンギンたちがときどき顔を左右に「ブルブル」とするのは、溝にたまった水を降りとはしているだけ。寒いわけではないのです。



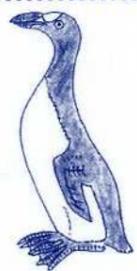
初代ペンギン?!

ペンギンという名前は、ラテン語の「ピングウィス」やスペイン語の「ベングウィーゴ」がもとになっていると考えられています。どちらの言葉も「太っちょ」という意味です。

その昔、今のペンギンが発見される前に、北半球にも白と黒のちょっと太った飛べない鳥がいました。人々はその鳥を「ペンギン!ペンギン!」（太っちょ）と呼んでいました。しかしその鳥は乱獲によって1844年に絶滅してしまいました。

その後、南極へ航海に出たヨーロッパ人が「昔見たペンギンが南極にもいたぞ!」となり、今のペンギンが発見されました。後に、この北と南のよく似た2つのペンギンは、近縁ではあるが、別の種の鳥だと判り、始めにペンギンと呼ばれていた北半球の鳥は「オオウミガラス」となり、南極の鳥が「ペンギン」として定着したというわけです。

初代ペンギンのオオウミガラスは絶滅させられた上に、名前まで変えられてしまったんです。ちょっとかわいそう…。



オオウミガラス

ペンギン今昔物語

今でこそ、愛らしい動物として親しまれているペンギンですが、昔は人間の食料や毛皮、ペンギンオイルとよばれる体の脂肪をとるために、何十万羽というペンギンが殺されていました。今では毛皮やペンギンオイルをとるために殺すことは法律で禁止されていますが、今度は環境破壊や海の汚染により、ペンギンの生活はまた人間によっておびやかされています。

ニュージーランドやオーストラリアでは、人間が持ち込んで野生化した、イヌやネコ、ネズミやイタチがペンギンの卵やヒナを襲い、またビツジがペンギンの巣を踏み荒らす被害もでています。フンボルトペンギンやケープペンギンは、自分たちのフンがつもりつもって固まったグアノとよばれる地層のような所に巣穴を掘って産卵・育児をしますが、ここでも人間はグア

アノを肥料にするため根こそぎとってしまい、ペンギンのすみかをけずってしまいました。（アフリカでは現在グアノの持ち出しは禁止されています。）

海では餌となる魚が乱獲されたり、タンカーが流す油や化学物質による影響も大きい。

有毒な油にまみれたペンギンは、ボランティアの人たちに保護され油は洗い落とされるのですが、このとき彼らが生きるために必要な尾脂腺から出る油まで一緒に落ちてしまい、もとどおりの健康な体に戻るまでしばらく時間がかかるそうです。

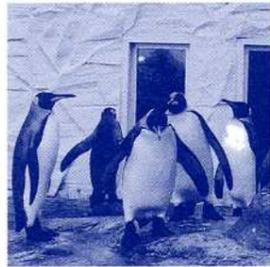
1905年から、ペンギンを保護するための条約や法律がつくられてきました。生息地に保護区を設けたり、いくつかの保護団体も活動しています。

しかし、最も大事なことは私たち人間がこの地球を保護していくことではないでしょうか。

見どころいっぱい ペンギン館オープン

2000年9月10日、待望の「ペンギン館」がオープンしました。
見どころは何といっても視界360°水中パノラマトンネルです。水中を飛びまわるペンギンたちを見て「ペンギンは鳥なんだ!」と実感。そして、幻想的なウォーターワールドを体感して下さい。

旭山ZOOのペンギン紹介



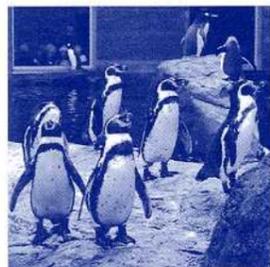
キングペンギン
Aptenodytes patagonicus

体長90cm
体重12~14kg
南極半島や南極周辺の島々に生息。
2番目に大きいペンギン。オレンジ色のイヤーパーチ(目のあたりのもの)が鮮やか。



ジェンツーペンギン
Pygoscelis papud

体長75cm
体重5kgくらい
南極半島や南極周辺の島々に生息。
活発で温和なペンギン。
歩くのが上手。



フンボルトペンギン
Spheniscus humboldti

体長68cm
体重4kgくらい
南米チリからペルーの海岸。
寒さは苦手。日本の動物園・水族館で一番多く飼育されているが、野生では絶滅が心配されている。

マリンボーイ&マリンギャル



丸 一喜

ペンギンの飼育担当者。
このためにスキューバの免許を取得。しかし“ボーイ”というには無理がある?



森上 祐子

2人はベテランダイバー。最近ペンギンたちの性格もわかってきたので、こっそり名前をつけている。



田中 千春



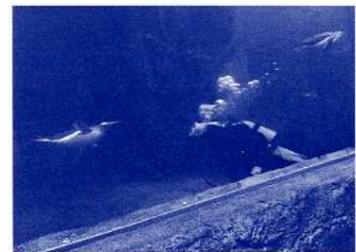
ジャンプ!!



ご存じ、あべ弘士氏の壁画



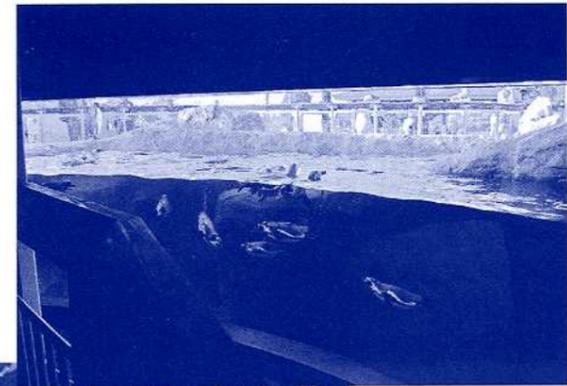
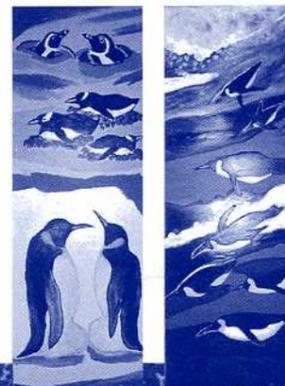
ペンギン18種のレプリカ



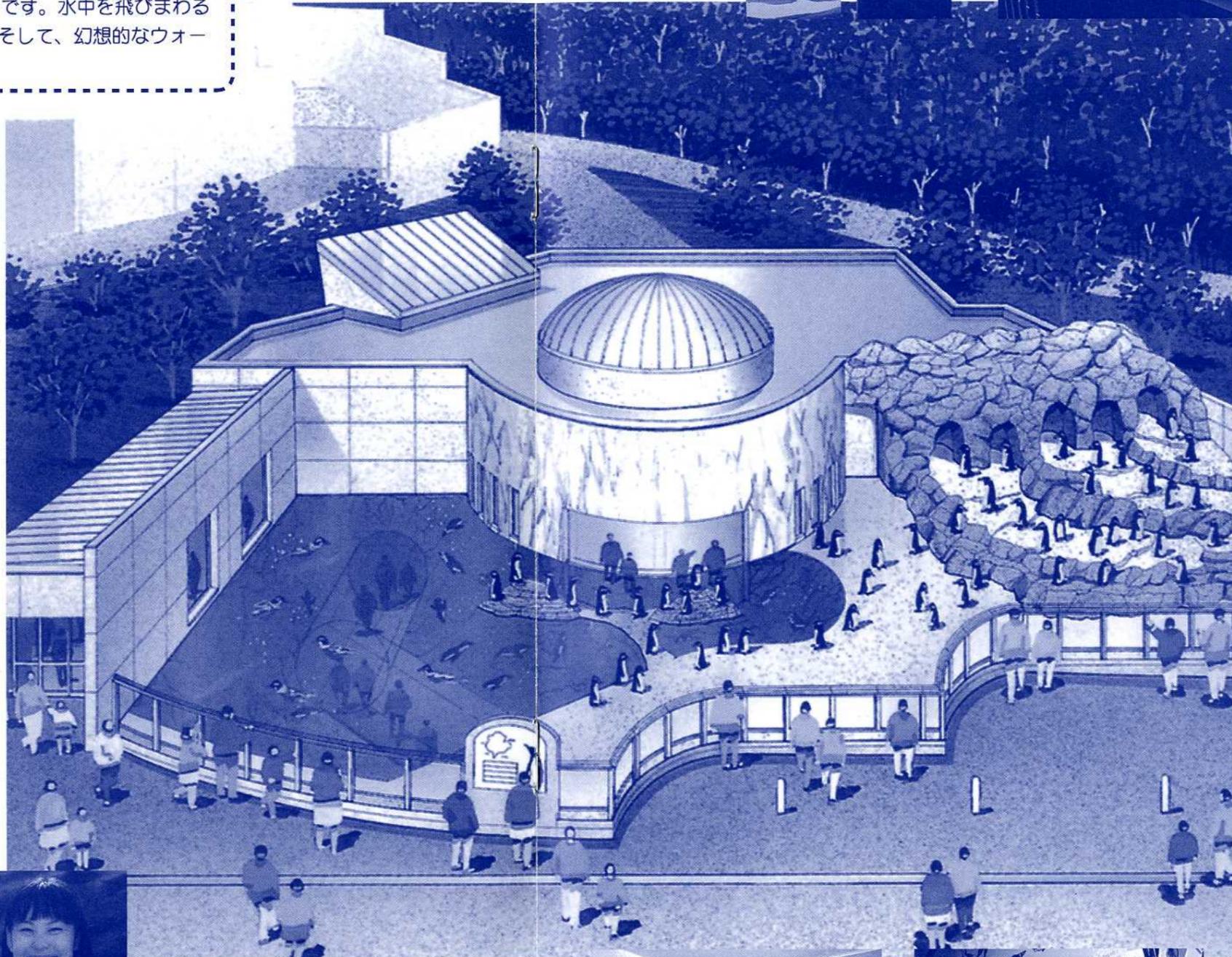
餌付けタイム



ここにもあべさんの壁画



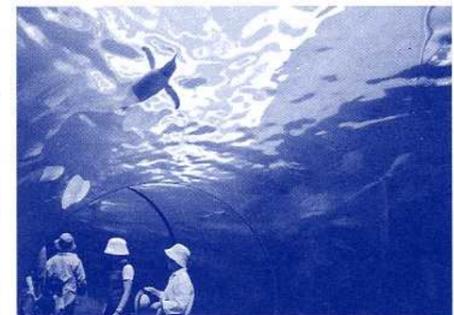
ガラス越しのペンギン



ミニ水族館



室内放飼場



トンネル内で水中散歩



王様の泳ぎ



こども牧場だより

—シロヤギさんのメール—



園内で唯一、動物をさわることができる”こども牧場”は、いつも大人気です。扉を押してはいると、まずはヤギが皆さんをお迎え。もう少し進むと、ウサギ・モルモットたちや、ビーグル犬のピーと会うことができます。

ところで、こども牧場にはいったい何頭の動物がいると思いますか？7月20日に数えたところ27種類、95頭もいました。実際に表にでているのは30頭くらいなのですが、寝室には出番を待っている動物がたくさんいるのです。人間が1日中外にでていたら疲れてしまいますよね？動物も同じです。ヤギ・ブタ・ニワトリたちは一日中外に出ていてもわりと平気なのですが、ウサギなどの小動物は1時間位が限界です。それで、皆さんがいつ来ても動物に会えるように、交代要員がたくさんいるのです。

さて、たくさんいる動物たちですが、こども牧場にいる動物たちは1種類をのぞいてほかは、「家畜」「ペット」とよばれている動物たちです。「家畜」は人間の役に立つように改良された動物、「ペット」は一緒に仲良く暮らす動物です。最近は家畜として飼われてきた動物が「かわいいから」ペットとして飼われることも多いようです。たとえばウサギ。もともとは肉や毛皮をとるために飼われていましたが、近年は愛玩用で小型の品種も作られています。こども牧場では、「家畜とペットの違い・家畜と人間がどう関わってきたか」などを学んで

もらえればな、と思います。

こども牧場に来たら、守ってほしいことが3つあります。それは…

☆大きな声を出したり、走り回ったりしない

動物から見れば、人間はすごく大きなもの。そんな大きなものが騒いでいたら動物たちがビックリしてしまいます。

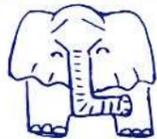
☆動物にエサをあげない

このエサには人間のおやつ、その辺に生えている草も含まれます。よく、ちぎった草をあげる人がいるのですが、一人があげるとまわりで見ている人みんなも草をあげたくなくなってしまい、みんながあげると動物はその草でおなかがいっぱいになって、飼育係が用意したエサを食べてくれなくなるのです。草ならまだしも、人間のおやつを食べたらおなかを壊してしまうかもしれません。

☆動物をさわった後は必ず手を洗う

この3つのことを守って、こども牧場で楽しんでいてもらえればうれしいです。

次回からはこども牧場の仲間たちの紹介をしていきたいと思っています。楽しみに待っていてくださいね！



動物園事情



冬の動物園

旭川の冬は、寒波と大雪に見舞われる厳しい冬。しかも、動物園は旭山の斜面に立地しているため、入園者の足元が心配される。間違っても動物園に人は来ない。旭山動物園が昭和42年の開園から冬期閉園としてきた大きな理由がそんなところにあった。

しかし、動物たちは冬も元気に生活しているし、我々職員も夏と同じように動物たちの世話をしている。サルや鳥たちの多くは、暖房した部屋の中で過ごしているが、北国の動物たちや熱帯でも大型の動物たちは、夏と同じような生活をしている。ただ、外に出ている時間が短かっただけだ。

我々は、冬の動物たちの暮らしを市民の皆様にご覧いただくことを目的として、平成2年から冬の動物園観察会を始めた。第1回目は、最低気温氷点下27度の中、60人ほどの参加者を迎えて開催されたが、雪の中のキリンやゾウ、カバの姿に大喜び、動物たちも久しぶりの賑やかな来園者に顔を寄せてきた。参加者の印象も「まるで動物に見られているような観察会」だったことを覚えている。その後、毎年3回の冬の動物園観察会を続けてきた。

そんな中、昨年国の緊急地域雇用対策事業の一環として旭山動物園冬季閉園モデル事業の実施が決定され、11月7日から3月28日までの

園時間は気温の上がる11時から14時までの3時間と短く、北海道の他動物園の冬季入園状況から推察し、入園者数はそう多くはないだろうし、入園者のまったく来ない日も続くだろうと予測していた。

ところが、期間中の入園者は2万6,667人と予測を遙かに超える人手に驚かされる結果となった。特に2月の旭山冬まつり期間中にキングペンギンを特別展示した3日間は5千人を超える人出で駐車場へ入れない車で渋滞騒ぎを起こさしてしまうほどだった。

もちろん、ペンギンだけが人気ではない。入園者は、雪の中を走り回るアムールトラの迫力やライオンの子どもたちのやんちゃ振り、岩の上で日向ぼっこをしているニホンザルたち、美味しそうに雪を食べているキリンやゾウの姿に感動しながら、冬の動物園を笑顔いっぱい楽しんでた。特にゴマフアザラシが氷の穴から顔を出したり出入りしているのを写真におさめようと大勢の人で人垣ができていたのには驚いた。

北国の雪の中の動物園は、真つ青な空のもと太陽の光が雪の結晶にきらきらと煌めき、雪国の動物たちはもちろん南国の動物たちも元気いっぱい輝いている。今年も冬の動物園が11月3日から来年3月27日まで開かれる。

間、金曜日から火曜日まで週5日間の閉園を試みることにした。開



動物病院VETニュース

—カリスマ獣医師への道—



オランウータン～釧太郎～、安らかに。

わんぱく盛りの釧太郎（オランウータン、オス）は、僕がそばに行くといつも手をつかんで、「遊ぼう！」、また、その場から立ち去ろうとすると砂をかけて、「行かないでよー。」とだだをこねます。

そんな彼は2000年7月20日頃から大腸バランチジウム症という病気と闘っていました。8月9日晴れた朝、担当者の高橋さんはいつものように「おーい、センタロウ、おはよう！」と声をかけ、彼に歩み寄りました。最近、彼は食欲がなく、治療も嫌で、麻袋の中に入り込んだまま、外に出てこない日が続いています。高橋さんは何とか朝ごはんを食べさせて栄養をつけさせなければ、熱があるかどうかチェックしなければ、と彼の背中をポンとたたいて、起こそうとしました。

「センタロウ、起きれ。朝ごはんだぞ！」彼は大好きな高橋さんに、「ボクは眠いよ。起こさないで。」と…。享年7歳、あまりにも若すぎる死でした。

大腸バランチジウム症とは、ソウリムシのような単細胞生物が大腸に寄生して起こる感染症で、下痢を起こします。感染しているからといって必ずしも、症状が現れるとは限りません。

メスのリアンの下痢に続き、釧太郎は突然、下痢し始め、食欲がなくなりました。この病気の特効薬は大変苦いので、いくらチョコレート、はちみつ、ジュースなどに混ぜても、かじこい彼は見破ってしまい、薬を飲んでくれませんでした。ヒトのこどもと同じです。おさえつけて、無理やり薬を飲ませようとしても、力では負けてしまいます。しかし、薬

を飲ませないことには治らないので、7月22日、麻酔をかけ、胃の中にチューブを突っ込んで薬を入れました。その後、下痢はおさまったのですが、次第に部屋のすみの方で震えたり、いじけたり、僕たちを避けるようになりました。食欲もなくなり、好きなバナナも薬がついていないか調べるかのように警戒するようになっていました。高橋さんは彼になんとか元気になるしてほしいと、一生懸命に看病を続けました。しかし、8月に入り、彼は眠る時間が増え、8月8日、力をふりしぼり、高橋さんにしがみついて「ありがとう。」とあいさつした後、次の日、永遠の眠りにつきました。

病理解剖の結果、大腸バランチジウム症の他に、細菌感染症を合併しており、これが直接の死因と診断しました。いずれも、健康なときならば、大きな問題とならない病気で、効薬もあるのに…、大変ショックでした。今回のように、知能の高い動物ほど治療は大変やっかいなことで、症状を隠したり、薬を飲まなかったり、信頼関係がくずれることがあります。精神的な不安定状態と考えていたのが、後から考えれば、細菌感染症の始まりであり、実に苦い経験となりました。

リアンは彼がいなくなって、甘えん坊になったり、少しひねくれ物になったりしています。彼女の心のケアも大切で、オランウータンがいかにか僕たちヒトに近いか実感しました。

釧太郎のわんぱくで、人なつっこい性格は僕たちの心にはずっと残りつづける。「センタロウ、いつも楽しませてくれて、笑わせてくれて、ありがとう。もう、おやすみ…。」



▲Photo 三浦 直美さん
三浦さんは釧太郎の大ファンで、いつも釧太郎に果物を差し入れてくれました。ありがとうございます。

Q クイズ Q

2000年9月10日にオープンした大人気の「ペンギん館」さて、当園で飼育している3種のうち一番寒がりのペンギンは？

- ① キングペンギン
- ② ジェンツーペンギン
- ③ フンボルトペンギン

57号の正解は2番でした

57号の当選者

旭川市 奥村 瑠美子さん
旭川市 伊藤 妙果さん
柏原子 安尾 秀昭さん



58号の正解は2番でした

58号の当選者

旭川市 やぶした ゆかりさん
旭川市 村田 悠さん
旭川市 沢井 玄さん



正解者の中から抽選で3名の方に旭山動物園特製エゾシカの角キーホルダーが当たります。

応募方法はハガキに答と住所、氏名、年齢、電話番号を書いて、旭山動物園モユク・カムイ係までお送り下さい。

応募〆切 2000年12月31日

飼育動物数

(10月31日現在)

ほ乳類	50種	200点
鳥類	100種	604点
爬虫類	12種	42点
合計	162種	846点

編集後記

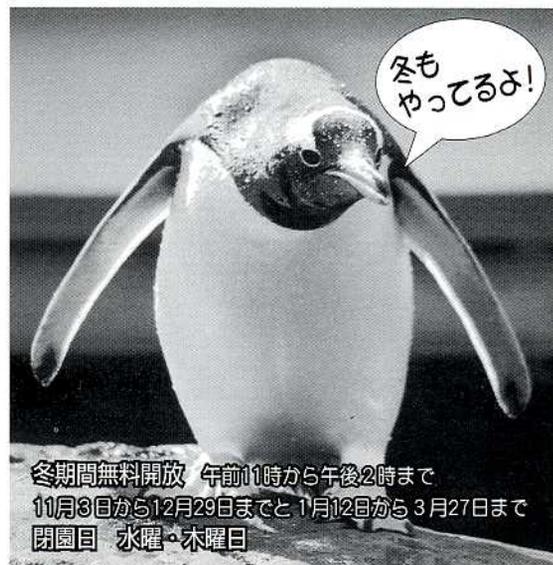
今年は開園期間中の入園者が50万人に迫り、大変なにぎわいでした。11月に入り雪の日が多く今年の冬は長くなりそうです。天気までペンギンを歓迎してるようです。キング・ジェンツーペンギンは舞い落ちる雪を追いかけて楽しそうですが、フン

ボルトペンギンにはちょっと寒いようです。自由に出入りできる部屋があるのにひたすらみんなで寄り添って恨めしそうに雪を眺めています。仕方がないので部屋に閉じこめることにしました。

昨年から冬期無料開放を行っています。今年はペンギンも仲間入りしたので見どころいっぱいです。遊びに来て下さい。

主なできごと

- 5月21日 野鳥観察会
- 6月11日 動物園裏側探検
- 6月24日 フクロウ観察会
- 6月26・27日 北海道ブロック飼育技術者研究会(登別マリンパークニクス)「キリンの展示方法について」発表
- 7月5日 レッサーパンダ出産
- 7月14日 キングペンギン2羽購入
- 7月19日 ジェンツーペンギン8羽名古屋港水族館より入園
- 7月23・30・8月6・13日 親子動物教室
- 8月1~3日 サマースクール
- 8月9日 オランウータン♂バランチジウム症・エルシニア症で死亡
- 8月12~16日 夜の動物園
- 8月23・24日 第51回北海道獣医師大会及び3学会「膝関節脱臼を非吸収糸を用いた関節制動術により修復したマガンの1例、および実験的膝関節脱臼を同法により修復したドバトの1例」発表
- 8月27日 シジウカラガン7羽東京都多摩動物公園より入園
- 9月1日 フンボルトペンギン5羽平川動物公園より入園
- 9月2日 フンボルトペンギン15羽小樽水族館より入園
- 9月10日 ペンギん館オープン
- 9月15日 飼育勉強会「ワニの冬期間の給餌について」「コザクラインコの繁殖について」
- 10月6日 飼育勉強会「伝染病について」
- 10月21日 飼育勉強会「傷病野生動物の保護について」
- 10月22日 わくわくゲーム大会・閉園
- 10月30日 1飼育勉強会「こども牧場での3時のワンポイントガイドについて」
- 10月31・11月1日 北海道ブロック飼育技術者研究会(登別クマ牧場)「こども牧場での活動について」発表



冬期間無料開放 午前11時から午後2時まで
11月3日から12月29日までと1月12日から3月27日まで
閉園日 水曜・木曜日

モユク・カムイ No.59 平成12年11月30日

発行所 旭川市旭山動物園 〒078-8205 旭川市東旭川町倉沼 ☎0166-36-1104
発行 小菅正夫 <http://www.arc-net.co.jp/kodoka/shoukou2/sc02.html>
編集委員 中田真一・坂東元
印刷 谷川印刷株式会社 〒070-0831 旭川市旭町1条4丁目 ☎0166-51-0653